

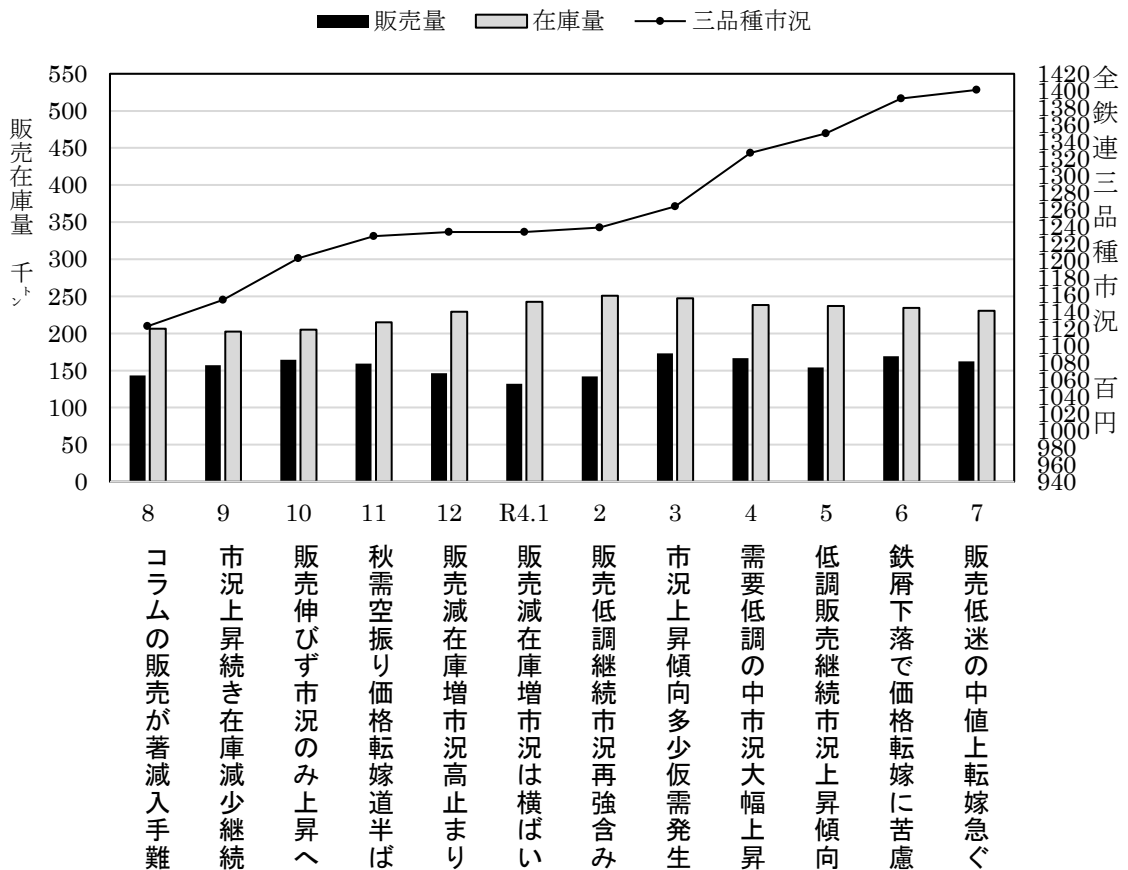
<総計欄> 7月の仕入量は 157,921 トン前月比-5.5%、前年同月比+6.5%、販売量は 162,107 トン前月比-4.3%、前年同月比+0.9%。前月比では仕入量・販売量とも減少、前年同月比では仕入量は増加、販売量は微増となりました。在庫量は 230,396 トン前月比-1.8%、前年同月比+9.1%、在庫量は前月比減少、前年同月比増加しました。在庫率は 142.1 ポイントと上昇しました。

7月の販売量は前年同月比微増といまだ盛り上りにかけ需要低迷が続いています。中小建築物は少ないが、大型物件は堅調で付帯設備関連の仕事が多少出ているようです。スクラップ価格が下落傾向の中、秋需に向け流通はこれまでのメーカー値上げ分を急いで転嫁している状況です。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼 3.4%減少、東京 6.0%減少、大阪 2.7%増加、愛知 1.0%減少しました。H形鋼は 3.6%減少、東京 0.6%微減、大阪 6.8%減少、愛知 2.2%減少しています。その他品種では山形鋼 10.6%著減、溝形鋼 3.8%減少、コラム 0.3%微増、C形鋼 3.6%減少しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼 1.5%減少、東京 1.0%増加、大阪 11.7%著減、愛知 0.6%微増しています。H形鋼は 4.0%減少、東京 4.3%減少、大阪 3.2%減少、愛知 5.5%減少しています。その他品種は山形鋼 0.4%微増、溝形鋼 0.9%微減、コラム 0.4%微減、C形鋼 2.7%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移



8 コラムの販売が著減入手難
 9 市況上昇続き在庫減少継続
 10 販売伸びず市況のみ上昇へ
 11 秋需空振り価格転嫁道半ば
 12 販売減在庫増市況高止まり
 R4.1 販売減在庫増市況は横ばい
 2 販売低調継続市況再強含み
 3 市況上昇傾向多少仮需発生
 4 需要低調の中市況大幅上昇
 5 低調販売継続市況上昇傾向
 6 鉄屑下落で価格転嫁に苦慮
 7 販売低迷の中値上転嫁急ぐ